

第15回『銀座涼風計画(打ち水)』 すべて再生水で実施！

平成30年8月5日(日)第49回ホリデープロムナード「ゆかたで銀ぶら2018」(主催:全銀座会、銀座通連合会)の催し物で「銀座涼風計画(打ち水)」(東京国道事務所共催)が国道15号(銀座通り)の2つの会場で、すべて下水処理水をさらにきれいにした再生水を使用し実施しました。

銀座涼風計画(打ち水)は、昔から「涼」を取るための有効手段として行われてきた『打ち水』を通じて、ヒートアイランド対策の取り組みとして環境意識の啓発や水の再利用の促進などを広く一般の方々に理解していただくため、平成16年度より銀座通りで実施し、今年で15回目となりました。

全国的に記録的な猛暑が続くなか、実施時にも気温が33℃を超えました。ゆかたを着て銀座にいらした方やショッピングを楽しんでいた方など約700名の方が15時00分と15時30分の2回の銀座涼風計画(打ち水)に参加し、昔ながらの「涼」の取り方を楽しんでいました。

路面温度は、事前撮影会を含めた3回の打ち水により約20℃も下がりました！(55.1℃→35.9℃)



打ち水用の水(再生水)の運搬には
東京国道事務所の散水車を使用しました



打ち水に使われる桶が並べられています



打ち水の前の静けさ.....
カメラがその瞬間を狙っています



合図に合わせて、一斉に打ち水です！！